# 2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

# 〈学校用〉

# 校番(27)番 福山市立駅家南中学校

# 1 育成する力(21世紀型"スキル&倫理観")

育成する力(21世紀型"スキル&倫理観")	問題解決力	コミュニケーション力	協調性	リーダーシップ	
めざす子ども像	望ましい解決策を導き出すことができる。	自分の考えや思いを論理的に相手に分	互いに関わりながらその場に応じた行動	率先して集団や社会の中で役割を果た	
(21世紀型"スキル&倫理観"を身に付けた生徒の姿)		かりやすく伝えることができる。	ができる。	すことができる。	

転掉

## 2 授業の現状

教師が一方的に教え込み、生徒は静かに板書するという「講義調」だけの授業から、 習得させた知識や技能を活用して、設定した課題を解決するために思考させる場面 を意識して授業に取り入れようと試行錯誤している。

# 3 めざす授業の姿

- ・基本的な知識や技能をしっかり身につけようとしている。
- ・課題意識をもち、学んだことを活用してじっくり考え、はっきり表現しようとしている。

# 4 めざす授業に向けた取組の具体

### 4月からの取組

【コミュニケーション力を育成するために】

- ①既習事項の活用や確認テストの実施などの工夫を行ない、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ②学びの地図を作成し、生徒に単元の学習の見通しをもたせ、学びへの構えをつくる。
- ③ホワイトボードを活用するなど、アウト プットする(話す・書く)場面を意図的に 設定する。

#### 8月末の状況

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を 図るために、多くの教員が定期的に確 認テストなどを行っているが、十分に定 着しているとはいえない。
- ②全職員が1学期に学びの地図を2単元 以上作成した。
- ③授業において「自分の考えを積極的に 表現(書く・話す)しています」の肯定的 回答をした生徒の割合74.5%

### 9月からの取組

【コミュニケーション力を育成するために】

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を 図る取組みを繰り返し行ない, できたこ とを肯定的に評価する。
- ②学びの地図を作成し、生徒に単元の学習の見通しをもたせ、学びへの構えをつくる。
- ③アウトプットする(話す・書く)場面を意図的に設定し、アウトプットできた姿を肯定的に評価する。

### 12月末の状況

- ①「授業にやる気を持って参加します」の肯定的割合が 3.6 ポイント上昇 した(88.0→91.6)
- ②「授業のねらいはよくわかります」の 肯定的割合が 2.3 ポイント上昇した (91.1→93.4)
- ③授業において「自分の考えを積極的に表現(書く・話す)しています」の 肯定的割合が 5.1 ポイント上昇した。 (74.8→79.9)

## 1月からの取組

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を 図る取組みを繰り返し行ない, できたこと を肯定的に評価する。
- ②学びの地図に対する生徒の意識調査を行い、より効果的な学びの地図を作成していく。
- ③アウトプットする(話す・書く)場面を意図的に設定し、アウトプットできた姿を肯定的に評価する。

## 2月末の状況

- ①1・2 年生に実施した標準学力調査(各学年五教科)の基礎的な問題において、 目標値を上回る通過率であった教科は 5/10 だった。
- ②アンケートを実施したある教科では「何を学習するかわかるものになっている」の肯定的評価が92.6%であり、生徒に学びの見通しを持たせることができつつある。③特に総合的な学習の時間において、一年間の学びを発表させるなどの活動を仕組み、アウトブットしている姿を評価することができた。

# **5 取組の結果等** 数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力•学習狀況調查(%)

<u> </u>				
	A 問題	B問題		
国語	74 (-2)	59 (-2)		
数学	68 (+2)	41 (-5)		
理科	60 (-6)	( )		
	<u>-</u>	/ \		

( )は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプ I	タイプ Ⅱ				
国語	( )	( )				
数学	( )	( )				
理科	( )	( )				
英語	( )	( )				

「基礎・基本」定着状況調査 〈生徒質問紙調査〉(%)

内 容	国語 数学		学理科		英語			
内容	よく	ゆゆ	よく	ゆゆ	よく	ゆゆ	よく	やや
授業が分かる	17.9	31.1	42.4	27.2	41.7	37.7	29.1	26.5
学校が楽しい	交が楽しい 66.2							

暴力行為発生率•不登校生徒出現率(%)

1. 3

暴力行為

 (2)月末現在

 不登校
 3.18

# 体力つくり改善計画 【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果 重点課題		改善する取組内容・方法		
(男子)	○男子の県平均値以上の割合	○男女共に持久力に課題がある。	○部活動の時間に、持久力の向上を		
18/24	が、75%であった。		目的とした活動を取り入れる。		
(女子)	○女子の県平均値以上の割合	○男女共に最大筋力に課題がある。	○体育の授業の中で, 握力を鍛える		
17/24	17/24 が、70%であった。		ような補強運動を取り入れる。		
目標値	<ul><li>○男女の体力県平均値以上の割合を85%以上にする。</li><li>○全学年の「握力」の数値を、県平均かつ全国平均以上にする。</li><li>○全学年の「持久走」の数値を、県平均かつ全国平均以上にする。</li></ul>				

### 福山100NEN教育アンケート「対象:授業者」(%)

H H H H H H H H H H H H H H H H H H H				
質問項目	よく	当てはまる		
仕事にやりがいを感じている	23. 5	29. 4		
仕事に充実感がある	17. 6	23. 5		

児童生徒アンケート(%)

(12) 月実施

-		(,,,,,,,			
	質問項目	当てはまる	少し		
	授業で考えることが面白い	72. 4	27. 6		
Ī	自分の考えは、認められている	71. 4	28. 6		